

2019年度 全学公開FD報告会等一覧

NO.	主催	日時	場所	対象	テーマ	講師	概要(300時程度)	全学周知	事前申込	担当者	センターnews
1	理工学部	2019年5月15日(水) 14:45～15:30	瀬田学舎1号館619会議室	本学の専任教職員(特任を含む)・非常勤講師・高校教員・学生	龍谷IP「公募推薦入学者を対象とした入学前課題の実施」	渋谷 恒司 教授 樋口 三郎 准教授	2016年10月から開始された、龍谷IP「公募推薦入学者を対象とした入学前課題の実施」は、2019年3月で第1期が終了し、2019年4月より第2期が開始された。本取組は、理工学部と農学部の2学部によるものであり、両学部が連携し、これまで入学前課題を提供していなかった公募推薦入試の合格者のうち、一次手続きの完了者に対し、数学、物理、化学、および生物の問題を、eラーニングの形で提供するものである。2017年度は理工学部の入学生のみを対象としていたが、2018年度入学生からは農学部の入学生も対象として、提供する問題数も順次増やしている。本報告では、本取組の概要、および参加者と入学者数の関係等のデータ分析結果を説明する。	○	要	理工学部教務課 (内線:7274/担当者:佐々木)	1
2	理工学部	2019年6月5日(水) 14:30～15:30	瀬田学舎1号館619会議室	本学の専任教職員(特任を含む)・非常勤講師・高校教員・学生	龍谷IP「グローバル人材育成を目指すASEAN体感プログラム(ベトナムおよびシンガポールの大学・企業をめぐる理工系スタディツアー)」の事業実施報告	宮武 智弘 教授	理工学部ではこれまで、海外への学生派遣プログラムとして「RUBeC演習(大学院)」、「グローバル人材育成プログラム(学部3年)」を整備するとともに、海外大学との学生交換協定に基づく海外研究留学(大学院)を推進してきた。ここでは、2016年度より龍谷IP事業として展開している「ASEANグローバルプログラム(学部2年)」について報告する。本プログラムは理工学部学生がASEAN地域の大学、日系企業、現地企業を訪問し、外国の文化や、これらの地域と日本との多様な関わりを知るとともに、現地学生との共同PBL活動、在留日本人ビジネスパーソンの方との交流等を通じて、グローバルな視点を養いつつ、自らの学修意欲、基礎能力を高めることを目的としている。本報告では、2017年度より実施している学生派遣の様子を中心に述べる。	○	要	理工学部教務課 (内線:7274/担当者:佐々木)	2
3	経営学部	2019年6月12日(水) 16:30～17:30	深草学舎紫英館6階会議室	本学教職員	高ストレスをメンタル不調に導かないことは？ —教育活動の充実に向けて—	那須 英道 教授	ストレス環境におけるコーピング手法としてウェルビーイング手法が最近着目されています。みなさまの日常生活の中で気軽に取り組める具体的な手法を紹介し、実践しながら身につけて頂きます。 みなさんの対人関係の向上や生き甲斐のある人生への方向付けにもきっと気づきます。是非、ご参加ください。	○	不要	経営学部教務課 (内線:1342/担当者:谷)	5
4	文学部	2019年7月10日(水) 15:30～16:30	大宮学舎 西翼2階大会室議	本学教職員	単位僅少者の動向調査と支援方策の検討	玉木 興慈 教授 一部学科・専攻のFD委員	文学部では、過年度より単位僅少者への修学支援体制の整備に取り組んでいる。本報告会では、一部の学科・専攻からの単位僅少者指導の課題と報告、ならびに学修状況が改善した学生から実施した聞き取り調査の分析結果を発表する。このことを踏まえ、単位僅少者指導にかかるとする施策(面談方法・単位僅少者面談シート)の改善に繋がる契機としたい。	○	不要	文学部教務課 (内線:5010/担当者:龍)	6
5	実践真修学研究所	2019年7月10日(水) 11:30～12:30	大宮学舎 西翼2階大会室議	本学教職員	仏教と医療・福祉の連携を求めて	実践真宗学研究所 中村 陽子 教授	団塊の世代が高齢期を迎え、これからの日本はさらに少産多死社会が予想される。住み慣れた地域で自分らしい生活を人生の最後まで続けるために、地域包括ケアシステムの構築が急がれている。そこで仏教がこれまで培ってきた、各地域独自の相互扶助の文化や看取りの文化が試される。仏教者が地域包括ケアシステムの一員として果たすべき役割を考える。	○	不要	文学部教務課 (内線:5010/担当者:森)	9
6	社会学研究科	2019年7月10日(水) 15:15～16:15	瀬田学舎6号館1階 プレゼンテーション室	本学教職員	コピー&ペースト発見支援ソフトの現状と課題	株式会社アंक 前田 清一氏(技術部長)	他人の論文を自分が書いたように偽装する研究不正(剽窃)は、インターネット環境のもとで増えていると言われています。いわゆる「コピペ」は、学生の講義レポートどころか、世界的に有名な学術論文誌でも起こっており、アカデミズムへの信頼を低下させる元凶のひとつとなっています。 本委員会では、研究倫理の向上を目的に、コピー&ペースト発見支援ソフトの定番ソフト「コピベルナー」を販売する(株)アंक技術部長の前田清一氏を招き、ソフト実力や機能について説明を聞きたいと考えています。	○	不要	社会学部教務課 (内線:7272/担当者:巻野)	10
7	農学部	2019年7月24日(水) 15:30～16:15	瀬田学舎9号館2階大会議室	本学教職員	農学部の入学前教育について	竹歳 一紀(農学部教務主任、食料農業システム学科教授) 山崎 正幸(農学部食品栄養学科主任、食品栄養学科 准教授)	農学部専願入試および附属校合格者に実施している入学準備サポートプログラムと龍谷IP事業として2017年度から実施している公募推薦合格者対象のR-studyの内容について、解説をおこない、農学部入学前教育のあり方を検討する。	○	不要	農学部教務課 (内線:2006/担当者:田中)	11
8	経営学部	2019年8月2日(金) 17:30～	深草学舎22号館B101教室	本学教職員	【1部】「マネジメント演習(基礎)」及び「マネジメント演習Ⅰ」の試行について 【2部】合同型演習における合同報告会Ⅰ	【1部】「マネジメント演習(基礎)」及び「マネジメント演習Ⅰ」の試行希望教員 【2部】経営学部 坂本 雅則ゼミ、濱田 崇嘉ゼミ(3年生)	【1部】「マネジメント演習(基礎)」及び「マネジメント演習Ⅰ」の試行について、運営展開方法等を報告する。 【2部】社会人基礎力をゼミで養成することを旨とした経営学部の合同型演習で義務づけられている「合同報告会Ⅰ」を実施する。	○	不要	経営学部教務課 (内線:1342/担当者:谷)	12